

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第29回）議事概要

開催日及び場所	平成27年1月21日（水） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	<p>○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授）</p> <p>○委員 清水 幹裕委員（弁護士） 田辺 孝二委員（東京工業大学大学院教授） 松浦 亨委員 （北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授）</p> <p>○臨時委員 伊澤 克明委員 （東京建物株式会社 ビルマネジメント部 横浜営業所課長代理） 北村 五月委員 （一般財団法人日本不動産研究所 証券化部 主任専門役）</p>	
審議対象期間	平成26年7月1日～平成26年9月30日	
個別審査案件	9件	<p>○議事</p> <p>(1) 「国有財産の売買契約に係る一部変更」についての審査</p> <p>(2) 平成26年度第2四半期の物品・役務等契約に係る審査</p> <p>(3) その他</p>
一般競争入札方式	4件	
最低価格方式	1件	
総合評価方式	3件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	5件	
企画競争	2件	
公募	1件	
競争性のない随意契約	2件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	<p>議事(1)：用途指定の変更は妥当と認める。</p> <p>議事(2)：個別に検討等を要するものはあるが、全体としては特に問題なく処理されている。</p>	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>「国有財産の売買契約に係る一部変更」についての審査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に公益性が高く、妥当な計画ではないか。 ・用途変更をした後の敷地が、指定した用途どおりに使用され、その目的が達成されるような形でできているかというフォローアップは行うのか。 ・指定した用途と違う使われ方をした場合の罰則はどうなっているのか。 ・公共性の高い用途を使用することを前提として売却されているので、公共性が損なわれなければ特段問題はなく妥当と考える。 ・用途変更に当たり、売買時よりも高い地価で売った場合の売却収入はどうなるのか。 <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途指定の変更については、一定のやむを得ない理由と合理性が認められることから妥当と認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定した用途どおり使用されていくかどうかを、国として監視していくことになる。 ・当初契約において、違約金を科すことになっている。 ・契約上も明記しているが、国が売却した金額よりも高額で売却された場合には、その差額については、国庫に返納することとなっている。

平成26年度第2四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）

① 平成26年度就学事務猶予免除者に対する教科書の供給契約 【随意契約（競争性のない随意契約）】（初等中等教育局）

・随意契約とした理由は何か。

② 平成26年度第1回高等学校卒業程度認定試験東京会場の借用 一式【随意契約（公募方式）】（大臣官房会計課）

・公募に応じる者がいないのは、会場使用の時期の問題もあると思うが、当該試験の日程はどのように設定しているのか。

・今後状況変化が見込まれないのであれば、公募ではなく随意契約を締結して価格交渉を行うことも選択肢としてあるので、次年度以降検討していただきたい。

③ 学校給食栄養報告の調査 一式 【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）

・応札者を増やすため、公告期間をより長く確保していただきたい。

・一者応札となるような案件については、予定価格の立て方をもう少し工夫する必要があるのではないか。

・当該教科書の給与について、各都道府県に所在する特約供給所から、一切の権限を委任されているのが、契約の相手方のみであるため。

・大学入試試験に間に合うように実施しており、AO入試等近年の大学入試の多様化にも対応できるように日程を設定している。

・御指摘を踏まえ、今後検討していきたい。

・御指摘を踏まえ、公告期間の長期化を図りたい。

・検討したい。

④ 「ESDに関するユネスコ会議」に係る周知・広報事業【一般競争入札（総合評価落札方式）】
（大臣官房会計課）

- ・説明会には参加したが入札には参加しなかった業者に対してヒアリングを行うなど、一者応札になった原因を分析しているか。
- ・仕様書の実施体制の構築を求める記述に誤解を招くような表現が見受けられたので、わかりやすい書き方を心がけていただきたい。

⑤ 平成26年度「学校評価の充実」【随意契約（企画競争方式）】（生涯学習政策局）

- ・一者応募となった理由は何か。
- ・企画競争方式にした理由は何か。
- ・専修学校の経営等の経験者も審査員に加えるなど、多様な観点から事業を審査できるよう、審査員の選定の幅を広くする等工夫した方がより良いのではないか。

- ・関心を示した業者には声を掛けるなどの対応を行ったが、別の広報事業の落札結果を踏まえて、応札を見送ったように聞いている。

- ・御指摘を踏まえ、今後気をつけていきたい。

- ・昨年は別の2者と契約したが、それぞれ別の事業を受託したり、別の団体が受託した事業に協力するというような理由で、今回は応募いただけなかった。

- ・国の方で詳細な仕様書を作成することが困難だったため。

- ・専修学校関係の方の関連する団体等が応募してくる可能性があったので、審査員には入れなかったが、今後は工夫してまいりたい。

<p>⑥ 医療プラットフォームデータベースの利用 【随意契約（競争性のない随意契約）】（科学技術・学術政策研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に類似したデータベースの利用契約はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度医薬品関係の基礎研究に係るデータベースの利用契約を行ったが、今回は特に特許データを重要視したデータベースの利用となっている。
<p>⑦ データ・情報基盤構築とデータ提供事業の総合的推進【一般競争入札（総合評価落札方式）】（科学技術・学術政策研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会には参加したが入札には参加しなかった業者の不参加理由は何か。 ・契約件名が調達内容を表しておらず、誤解を与える可能性があるため、契約件名については工夫をしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者にヒアリングを行ったところ、必要人数を確保できなかったとの理由や、規模が大きすぎて対応できないと判断したなどの理由であった。 ・御指摘を踏まえ、今後気をつけていきたい。
<p>⑧ 著作権・著作隣接権に係る WIPO アジア地域会合の実施業務【随意契約（企画競争方式）】（文化庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数者応募は想定しているのか。 ・一者応募となっているため、企画競争を続けるか、公募をした上で随意契約とするのか、どれが一番良い方法かを検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同類の業務の受託実績があれば足りると考えているので、複数者応募の可能性があると判断している。 ・御指摘を踏まえ、今後検討していきたい。

⑨ アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究【一般競争入札（総合評価落札方式）】（文化庁）

- ・一者応札となっているが、アイヌ語を研究している機関はどのくらいあるのか。
- ・北大が応札しなかった理由は把握しているのか。

【総括】

- ・個別に検討等を要するものはあるが、全体としては問題なく処理されている。

- ・組織としてやっているところはない。大学の中のセンター等で研究しているのも、10に満たない数と把握している。
- ・今回の場合は、同じアイヌ語でも地域差が非常に大きいので、その点を考慮されて応札を見合わせたのではないかと思われる。